

やまぐちっ子の学力向上に向けて

令和4年1月
やまぐちっ子の学力を育む検証・改善委員会

社会の変化が加速度を増し、複雑で予測困難となってきた中、様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるよう、子どもたちの資質・能力を育成することが求められています。そのためには、学習指導要領の着実な実施が重要であり、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を進めてきているところです。

こうした中、令和3年度の全国学力・学習状況調査における本県の結果は、小学校・中学校ともに、自分の考えを深めたり広げたりする授業が展開されてきているものの、勉強が好きな児童生徒の育成、日常的なICTの活用、家庭学習の充実などに課題が見られます。

このような状況を改善し、全ての子どもたちの可能性を引き出す学びを保障するためには、学習指導要領の趣旨を踏まえ、コミュニティ・スクールの仕組みを生かした家庭や地域との連携・協働を基盤とし、「学校の『組織力』の充実」、「教員の『授業力』の向上」、「学校・家庭・地域の『連携力』の強化」の3つの視点による取組をさらに充実させていくことが重要であると考えます。

そこで、「やまぐちっ子の学力を育む検証・改善委員会」では、学校における取組や教育委員会の施策、これまでの全国学力・学習状況調査や山口県学力定着状況確認問題の結果等を踏まえ、今後の取組の一層の充実に向け、次の提言をまとめました。

— 提 言 —

1 学校の「組織力」の一層の充実

- 子どもたちに育成すべき資質・能力を身に付けさせるため、「学校・地域連携カリキュラム」を活用して、全校体制でカリキュラム・マネジメントの充実を促進すること
- 山口県学力定着状況確認問題と全国学力・学習状況調査を活用した、年間2回の検証改善サイクルにより明らかとなった各学校の課題を解決するために、組織的な授業改善の取組の充実を促進すること
- やまぐち学習支援プログラムの効果的な活用や多面的な児童生徒理解に基づくきめ細かな指導体制の整備により、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実する取組を推進すること

2 教員の「授業力」のさらなる向上

- 「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、日々の授業計画の作成と充実をはじめとした授業改善を促進するとともに、効果的な指導方法等の研修会を実施するなどして、教員の指導力の向上を図ること
- 子どもたちが課題の解決に向けて、自ら考え、主体的に取り組む授業をよりよく展開するために、ICTを効果的に活用する取組を推進すること
- 教員のキャリアステージに応じた研修会等を実施・充実させ、個々の教員の授業力や教科の専門性等の一層の向上を図ること

3 学校・家庭・地域の「連携力」の一層の強化

- 「社会に開かれた教育課程」の実現に向け、コミュニティ・スクールの仕組みを生かし、学校の教育目標や子どもたちに身に付けさせたい資質・能力を学校・家庭・地域で共有するとともに、地域の教育資源の活用を引き続き推進すること
- 学校運営協議会での熟議を通して、家庭・地域等、子どもの育ちに関わる多くの人々との情報共有による学習習慣や生活習慣の確立を図る取組を促進すること
- 接続する学校や幼児教育施設等との連携により、発達の段階に応じた指導方法の工夫・改善を図るとともに、子どもが自己の将来に夢や目標をもち、その実現に向けて学ぶことができる取組を促進すること

本提言をもとに、各市町教育委員会との連携強化を進めるとともに、学校・家庭・地域が一体となった学力向上の取組が一層推進されることを期待します。